

東北環境パートナーシップオフィス
運営第6期
令和4年度 事業計画書

運営第6期：令和4（2022）年度～令和6（2024）年度



EPO TOHOKU

東北環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office Tohoku



東北地方

ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

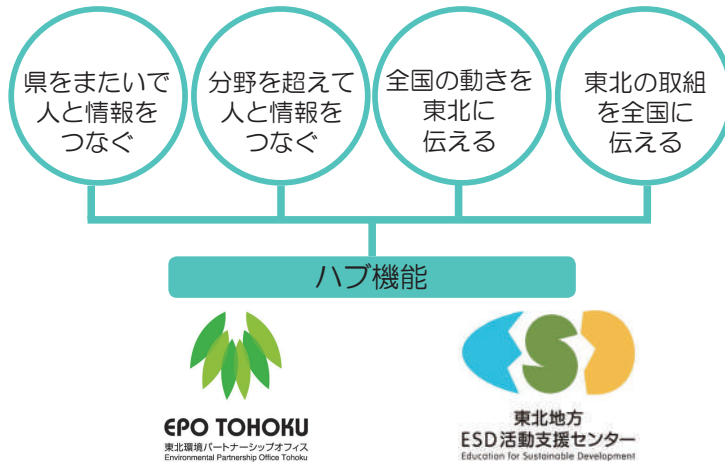


公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

1. 運営第6期 中期事業計画

これまで EPO 東北では県境を越えて東北ブロックのネットワークを形成することに注力してきました。社会の動きは大きな変革期を迎えており、地域の課題解決にあたり、課題の本質を見極めること、環境面だけではなく社会的・経済的な側面からも向上を図る視点を持つことが肝要です。また、その実行にあたっては多様な主体の連携・協働が欠かせないことから、分野を横断する重層的なネットワークの構築により、多角的な視野を持って課題解決の手法を議論し、これまでにはない新しい取組みを創出することが期待されます。

そこで、仙台に拠点がある EPO 東北並びに東北地方 ESD 活動支援センターの連携を円滑にするため、新たなネットワーク基盤および運営基盤づくりに取り組みます。パートナーシップ団体や地域 ESD 活動推進拠点、地域で活動に取り組む様々な主体との連携・協働のあり方を見直し、オンラインの手法を活用しながら時代に即したスタイルへとネットワークを結び直します。ついては、新たに地域の活動を支援するコーディネーターを発掘し、「地域リソースの活用」からステップアップし、「地域リソースが主体的に動くしくみ」づくりを目指します。環境活動に取り組む自治体、NPO、企業、大学等、多様な主体に働きかけることで、活動の底上げを図ります。

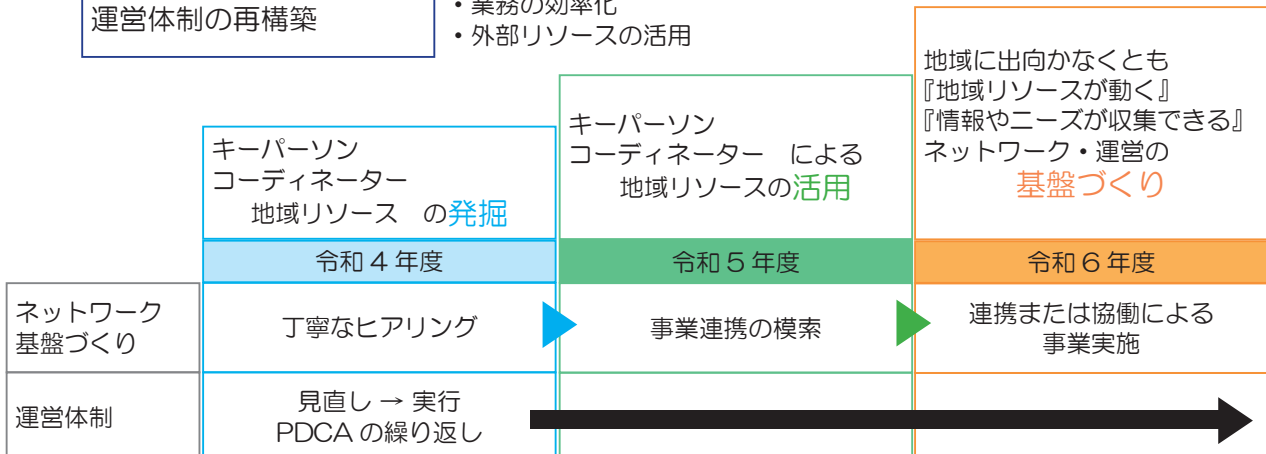


目標 新たなネットワーク基盤・運営基盤の確立

- ・地域ネットワークと接続した重層的・複線的なネットワークを構築する
- ・外部リソースを活用した運営体制

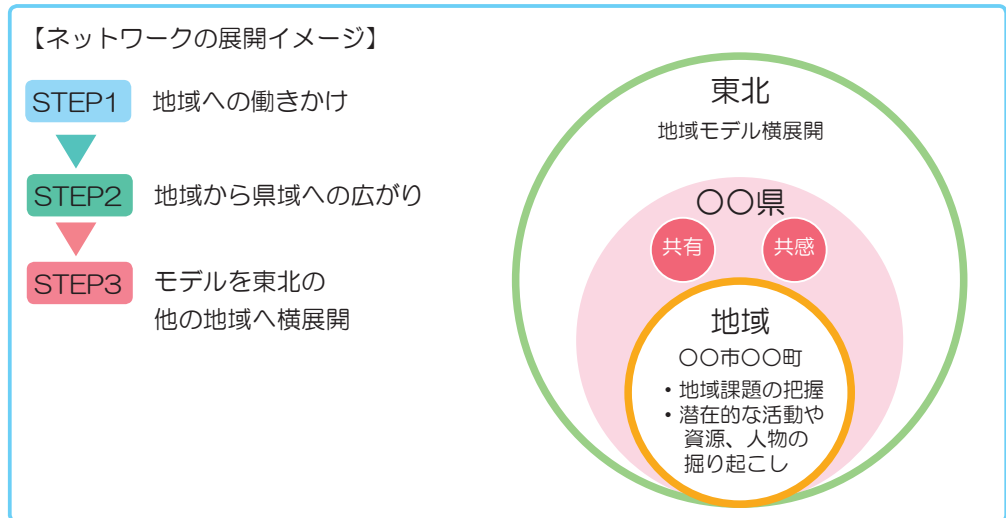
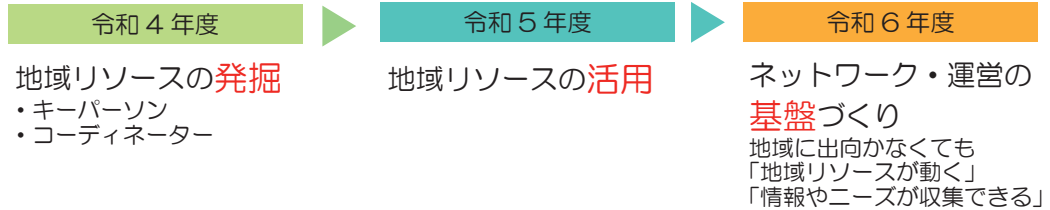
課題

新たなテーマでの連携・協働体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素」「OECM」等、新たなテーマへの対応 ・ESDの質的向上・量的拡大
既存の地域ネットワークとの接続	<ul style="list-style-type: none"> ・既存ネットワークの結び直し ・時代に即した連携・協働のあり方の模索
運営体制の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化 ・外部リソースの活用



2-1. 令和4年度事業計画 業務の目的と基本方針

運営第6期（令和4年度～令和6年度）
 中期目標：新たなネットワーク基盤・運営基盤の確立

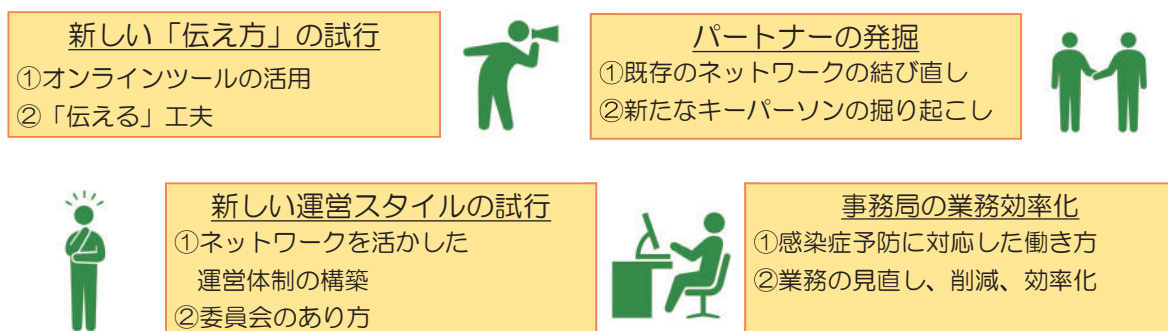


業務の目的

EPO 東北が環境教育等促進法に規定する国の役割を果たすため、また、東北地方ESD活動支援センターが国内実施計画等を踏まえた役割を果たすため、以下を目的に業務を推進します。

- ① 様々な主体による協働、連携の取り組みを広げ、効果的かつ効率的に環境保全活動や環境施策への協力及びESD活動を活性化させること
- ② 東北ブロックにおける多様な主体のネットワークの構築によりESDの質的向上・量的拡大を図ること
- ③ 地域のESDと地域内外のESD活動をつなぎ、人づくりの側面からESDの目標であるSDGs実現への貢献に寄与すること
- ④ 地域循環共生圏および地域脱炭素ロードマップの考え方にに基づき、持続可能な地域づくりを通じて環境で地方を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築するための創造に取り組むこと

令和4年度 基本方針



2-2. 令和4年度事業計画 事業構成

	EPO 東北	東北地方 ESD 活動支援センター
運営	<p>1. 事業運営会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北地方環境事務所、MELON、EPO 東北による会議。 密接な情報共有および意見交換を図るため定期的な打合せを行い、協働による円滑な運営に取り組む。 <p>2. 事業検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 有識者、企業、NPO、行政等 8 名で構成する。 委員から事業の助言やアドバイスおよび情報提供をいただく場として年 2 回開催する。 <p>3. 施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議スペースの供用、図書の貸し出し、資料提供を行う。 ガイドラインを設け感染症予防対策に努める。 	<p>2. 企画運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 有識者、企業、NPO、行政等 8 名で構成する。 委員から事業の助言やアドバイスおよび情報提供をいただく場として年 2 回開催する。
基本業務	<p>4. 情報の受発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者へのヒアリング及び情報交換の機会を設け、地域の課題やニーズの把握に取り組む。 ウェブサイト、メールマガジン（月 2 回発行）等で収集した情報を発信する。 <p>5. 相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の提供、活動の支援や事業連携など相談内容に合わせて対応する。 過去に支援した案件のフォローアップを行う。 <p>6. 全国事業に係わる業務</p> <ul style="list-style-type: none"> EPO 連絡会議（年 3 回）、その他会議への参加 EPO ネットワークへの協力 	<p>5. 相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ESD 活動実践者や実践団体から相談や支援要請があった場合、資料の提供、活動の支援や事業連携など適切に対応する。 <p>6. 全国事業に係わる業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国・地方 ESD センター連絡会（年 2 回）、その他会議への参加 全国フォーラムへの参加、協力 <p>7. 地域 ESD 活動推進拠点等の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録手続きの支援、協力 地域 ESD 活動推進拠点間の情報共有や連携等、活動を支援する。
全国共通	<p>7. 地域循環共生圏プラットフォーム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「環境整備」活動団体への伴走支援 各種会議への参加、情報および資料提供 東北ブロック中間共有会の開催（1 回） <p>8. 森里川海生態系ネットワーク形成会合</p> <ul style="list-style-type: none"> OECM をテーマとした情報交換会の開催（2 回） <p>9. 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の金融機関、経済団体等の参加する情報交換会の開催（4 回） パートナーシップ情報の授受 	<p>8. ESD for 2030 学び合いプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内外の ESD 実践者と連携し、ESD 活動を学び合う機会を提供する。 勉強会（2 回）、意見交換会（1 回）、実践活動（1 回）を行い、東北ブロックにおける ESD ネットワーク構築に貢献する。 <p>9. 地域フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北各地の多様なステークホルダーが参加し、地域における活動および課題やニーズを共有し相互に学び合うフォーラムを開催する（1 回）。
東北独自	<p>10. パートナーシップ団体情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の状況を情報共有し、国内の最新動向について学ぶ情報交換会を開催する（1 回）。 <p>11. みちのく薪びと祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な暮らしや地域のあり方をテーマにした相互交流の機会として「みちのく薪びと祭り」を開催する（1 回）。 「次世代の担い手」に焦点を当て新たなステークホルダーの巻き込みを図る。 	<p>10. ESD 地域研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域 ESD 活動推進拠点の連携によって ESD 推進の底上げと活性化を図ることを目的に、地域の ESD 実践者を対象に研修会を実施する（1 回）。

2-3. 令和4年度事業計画 内容

運営

内容

1. 事業運営会議

- 東北地方環境事務所、MELON、EPO 東北による会議。
- 密接な情報共有および意見交換を図るため定期的な打合せ（年5回程度）を行い、協働による円滑な運営に取り組む。

2. 事業検討委員会、企画運営委員会

- 学識経験者、企業、NPO、行政等、8名で構成する。
- 委員から事業の助言やアドバイスおよび情報提供をいただく場として年2回開催する。
- 2つの委員会を同日に開催し、互いに委員がオブザーバー参加することでEPO 東北、東北地方ESD活動支援センター、2つの事業の理解を促す。

3. 施設の維持管理

- 民間団体等が環境保全に関する情報交換や交流を図る機会を増やすため、会議スペースを供用する。
- 図書の貸し出し及び各種リーフレット等の資料提供を行う。
- ガイドラインを設け感染症予防対策に努める。

基本業務

内容

4. 情報の受発信（EPO 東北、東北地方ESD活動支援センター）

- 関係者へのヒアリング及び情報交換の機会を設け、地域の課題やニーズの把握に取り組む。
- 関係機関の動向や、環境およびESD/SDGsに関する情報を収集し、ウェブサイト、メールマガジン（月2回発行）等で収集した情報を発信する。

5. 相談対応（EPO 東北、東北地方ESD活動支援センター）

- 資料の提供、活動の支援や事業連携など相談内容に合わせて適切に対応する。
- 過去に支援した案件について活動状況をヒアリングし、他地域の活動情報の提供、助成金や補助事業の紹介などのフォローアップを行う。

6. 全国事業に係わる業務（EPO 東北、東北地方ESD活動支援センター）

【EPO】

- 地方EPO間の連携強化と情報共有を目的とした全国EPO連絡会議（年3回）及び、業務に係る連絡調整の目的で開催される会合に出席する。
- GEOCが開催する持続可能な地域づくりのための情報交換会への参加や、EPOネットワークへの協力を行う。

【ESDセンター】

- 全国・地方ESDセンター連絡会（年2回）、その他全国センターが実施する会議に出席する。
- 全国フォーラムに参加するとともに、必要に応じて登壇者との調整等に協力する。

7. 地域ESD活動推進拠点等の活動支援

- 地域ESD活動推進拠点の間で情報共有や事業連携を図ることにより、地域におけるESD活動を支援する。
- 地域ESD活動推進拠点への登録手続きにおいては登録審査を行う全国センターに対する情報提供を行う。

全国共通

内容

7. 地域循環共生圏プラットフォーム事業

- ・「環境整備」活動団体への伴走支援

		活動団体（主な活動地域）	活動テーマ（仮）
環境整備	【新規】	株式会社アースカラー（岩手県普代村）	DEEP 三陸循環共生圏の構築
	【継続】	米沢市（山形県米沢市）	地球に感謝！なせばなる上杉鷹山流のローカル SDGs
事業化支援		一般社団法人 Reborn-Art Festival（宮城県石巻市）	ワクワクする循環を増やす。挑戦できるまち、石巻。

- ・東北ブロックにおける活動団体同士の間接共有会の開催（1回）
- ・GEOC等が主催する関連会合への参加、過年度活動団体のフォローアップ等

8. 森里川海生態系ネットワーク形成会合

- ・生物多様性の保全が図られている保護地域と OECM（保護地域以外で生物多様性の保全に資する区域）による生態系ネットワーク化を推進することにスポットを当て、地域の関係者を巻き込んだ情報交換会を開催（2回）

9. 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化

- ・地域の金融機関、経済団体等の参加する情報交換会の開催（4回）
- ・GEOCが主催するヒアリングに対応し、地域循環共生圏の創造に資する企業及び金融機関等とのパートナーシップの形成状況について情報提供を行う。

東北独自

内容

10. パートナーシップ団体情報交換会

- ・東北各地で各事業を展開するにあたり、地域の窓口となる団体を「パートナーシップ団体」と定義し、各地の動向について情報共有するとともに国内の最新動向について学ぶ情報交換会を実施する（1回）。

※パートナーシップ団体

円滑に事業を推進するために東北各県の窓口となる団体との連携・協力関係を築いており、総称して「パートナーシップ団体」と呼んでいる。東北独自の仕組み。

11. みちのく薪びと祭り

- ・持続可能な暮らしや地域のあり方をテーマにした相互交流の機会として「みちのく薪びと祭り」を開催する（1回）。森林の手入れをしながら薪をエネルギーとして活用し、資源や人、経済の地域循環に取り組む小さなモデルに焦点を当て、関係者が相互に学び合い活動の活性化を図る。
- ・「次世代の担い手」に焦点を当て新たなステークホルダーの巻き込みを図る。
- ・コロナ時代に対応した新しいスタイルの「みちのく薪びと祭り」を企画する。

全国共通

内容

8.ESD for 2030 学び合いプロジェクト

- 地域内外の ESD 実践者と連携し、ESD 活動を学び合う機会を提供する。
- 勉強会（2 回）、意見交換会（1 回）、実践活動（1 回）を行う。
- ESD の視点から取り組みの意義や価値を評価する場を設けることで、活動の実践者や取り組みを支える関係者の意欲向上と活動の活性化や発展を促進する。
- 企画実施にあたっては「地域コーディネーター」と連携し、地域リソースの活用を試行する。

9.地域フォーラム

- 東北各地の多様なステークホルダーが参加し、地域における活動および課題やニーズを共有し相互に学び合う「東北 ESD / SDGs フォーラム」を開催する（1 回）。
- オンライン配信ならではのプログラムや演出の工夫についてメディア関係者の助言を得ながら企画する。

東北独自

内容

10.ESD 地域研修会

- 地域 ESD 活動推進拠点の連携によって ESD 推進の底上げと活性化を図ることを目的に、地域の ESD 実践者を対象に研修会を実施する（1 回）。
- 企画実施にあたっては「地域コーディネーター」と連携し、地域リソースの活用を試行する。
- 地域 ESD 活動推進拠点と連携し、「気候変動教育」をテーマとする実践活動およびフォローアップ等支援のモデルを創出する。

■東北環境パートナーシップオフィス（EPO 東北）
TEL : 022-290-7179 FAX : 022-290-7181
E-mail : info@epo-tohoku.jp
URL : <https://www.epo-tohoku.jp>

■東北地方 ESD 活動支援センター
TEL : 022-393-9615 FAX : 022-290-7181
E-mail : info@tohoku-esdcenter.jp
URL : <https://tohoku.esdcenter.jp/>

office : 〒 980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 2-23 仙台第 2 合同庁舎 1F
OPEN 9 : 30 - 18 : 00 (月~金)



EPO TOHOKU
東北環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office Tohoku



東北地方
ESD 活動支援センター
Education for Sustainable Development



◇運営団体◇公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）
office : 〒 981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F
TEL : 022-276-5118 FAX : 022-219-5713
E-mail : melon@miyagi.jpn.org
URL : <https://www.melon.or.jp/index.html>